



ダニ類による感染症について

皮膚科 大村 尚美

近年富山県内ではリケッチア感染症のツツガムシ病（数例/年）と日本紅斑熱（2023年初確認）、ウイルス感染症の重症熱性血小板減少症候群（2022年初確認）が報告されています。日本紅斑熱と重症熱性血小板減少症候群はマダニが媒介し、ツツガムシ病はツツガムシというダニ類の幼虫が媒介します。

ツツガムシ病は約0.3mmの幼虫が皮膚に吸着し、自覚症状は乏しく、刺し口が発見された時点で既に幼虫は脱落しています。5～14日間の潜伏期間を経て高熱、発疹、リンパ節腫脹などをきたします。日本紅斑熱と症状が類似し、診断のためPCR法（刺し口の痂皮、全血）や間接蛍光抗体法（血清）を地方衛生研究所へ依頼しています。

重症熱性血小板減少症候群は6～14日間の潜伏期間を経て高熱、消化器症状などが出現し、血小板減少や肝機能障害も生じます。皮膚にマダニの吸着が確認された例もありますが、確認できない例や刺し口が明確ではない事もあります。

当院では「マダニに咬まれて取れない」「突然ほくろができた」等の主訴でマダニを皮膚にくっつけたまま来院される患者さんも少なくありません。無理に引っ張ると口器が皮膚に残るため、多くは局麻下に皮膚ごと切除し、2週間程度は発熱等の全身症状に注意するよう促しております。



吸血中のマダニ

研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日時：2月13日（火） 19：00～20：00

場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

『異なる部位に着床した異所性妊娠の3例』

産婦人科 八木 萌

2) ミニレクチャー

『レカネマブの承認を踏まえた上での認知症診療方針について』

脳神経内科 鍛冶 稔

認知症は様々な原因により認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障をきたす状態である。2025年には我が国において65歳以上の約5人に1人、650～700万人が認知症患者になると予測されている。認知症の原因疾患はAlzheimer病やLewy小体病といった神経変性疾患、脳血管障害、脳腫瘍、甲状腺機能低下症や副腎不全といった内分泌機能異常症、ビタミンB12欠乏等の代謝性疾患等、多岐にわたる。特に内分泌機能異常やビタミン欠乏症等治療可能なものを見逃さないように病歴や随伴症状の確認、検査を行うことは重要である。頻度が高いのはAlzheimer病であり、アミロイドβの産生亢進・凝集による神経細胞死の誘発が病態と推測されている。症状としては物忘れ・記憶力の低下、病識・自発性の低下、失行、取り繕い、脱抑

制等が出現・進行し、最終的には寝たきり状態となる。コリンエステラーゼ阻害薬（ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン）やNMDA受容体拮抗薬（メマンチン）が進行を遅らせる薬剤として使用可能であるが、新たに抗ヒト可溶性アミロイドβ凝集体モノクローナル抗体であるレカネマブが承認された。レカネマブはアミロイドβの凝集に作用するが、症状の進行を完全に停止させるものではない。またアミロイドPETもしくは脳脊髄液検査でアミロイドβ病理を示唆する所見の確認が必要であり、副作用確認目的に定期的な頭部MRIのフォローも必要である。アミロイドPETをスムーズに行える環境整備等を進め、適応となる患者を見逃さないようにしていきたいところである。

予告

日時：令和6年3月12日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（担当）精神科

②ミニレクチャー 1題（担当）呼吸器・血管外科

2. 腎臓病教室

日時：令和6年2月22日（木） 13：30～15：45

場所：当院3階 301会議室

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。

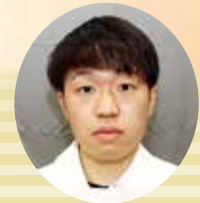


作：病院ボランティア 篠崎 佳子



研修医のひとりごと

臨床研修医 荻野 晋太郎



研修医の荻野と申します。まだ研修は数か月残っておりますが、2年間の振り返りをさせていただけたらと思います。私は名古屋の大学で学生生活を過ごしたため、就職を機に高校生以来の地元富山での生活となりました。幸運なことに研修医同期に中学高校の同級生が複数人いたため、不安なく研修を始めることが出来ました。研修開始当初は何もかもが分からない状態で上級医の先生、スタッフの皆さん、研修医の先輩方には大変ご迷惑をおかけしたと思います。しかし、そんな自分にも優しく丁寧に指導して下さる皆様のおかげで、少しずつではありますが成長することが出来たと思います。また、当院の研

修プログラムは選択科目で県外の病院にて研修することが可能になっています。私もこの制度を利用し大学病院での研修や、沖縄や飛騨で地域研修を行いました。慣れ親しんだ市民病院から外部へ行く緊張はありましたが、様々な病院で研修したことは自分にとって良い経験となりました。後輩の研修医やこれから入職する学生の方々にも是非この制度を十分利用して頂きたいと思います。来年度からも北陸に残り医師として働く予定です。育ててくれた地元の皆様に恩返しができるよう精進して参りますので今後ともよろしくお願ひします。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

2月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	水野	9日	脳神経外科	山野	5日
	向井	26日		出村	6日
麻酔科	篠田	13日	呼吸器・血管外科	湖東	22日
精神科	金子	6日、7日	眼科	山田芳	2日
皮膚科	大村	1日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児島	1日、22日
整形外科・関節再建外科	岩井	13日	歯科口腔外科	朽名	16日、21日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

1月にしては暖かい日が続いていますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。2024年は北陸の大地震、飛行機事故と前代未聞の幕開けとなりました。自然災害が少ないといわれている富山県ですが、震度5強を観測し地域によっては倒壊・地割れ・断水などの被害があるようです。今一度どこに避難するかを家族と相談し、すぐ避難できるように身の回りを整えようと思います。少しでも早く被災された方が安心して生活できるように願っています。微力ですが私にもできることをしていきます。



臨床検査技師 伊藤 舞

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp